

福井地方裁判所民事部 御中

令和4年(ヨ)第15号

関西電力株式会社・高浜原子力発電所1～4号機運転差止め仮処分命令申立事件

債権者 中島哲演外1名

債務者 関西電力株式会社

証拠説明書

令和4年12月6日

債務者代理人弁護士 笠原一浩

号証	標目 (原本写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考
甲63	「柏崎刈羽原子力発電所の耐震安全性向上の取り組み状況」	写し	H20.5.23ころ	東京電力ホールディングス株式会社	新潟県中越沖地震は、マグニチュード6.8の地震であり、東京電力柏崎刈羽原子力発電所で観測された地震動は、最大1699ガルであったこと
甲64	「福井県広域避難計画要綱」と題する書面 http://www.pref.fukui.jp/doc/kikitaisaku/genshiryoku-saigai_d/fil/hinannyoukou.pdf	写し	H26.3	福井県	① 避難は自家用車による避難を基本とする一方(本文5p) ② 交通混乱を避けるために乗り合わせ等による自家用車の抑制を図るよう努力するものとされ、 ③ 福井県嶺南地方の避難ルートは極めて少なく(別表2末尾の地図) ④ 多くの場合、他の原発のある方向に避難することになり(別表1) ⑤ 避難対象地域には病院等も多数ある(別表9) など、避難計画の策定状況自体が、

					避難の困難性を示していること	
甲 65	「都道府県別・車種別自動車保有台数(軽自動車含む)」と題する文書 https://www.airia.or.jp/publish/statistics/ub83e10000000wo-att/01_2.pdf	写し	R4. 8	一般財団法人自動車検査登録情報協会	福井県においては人口に比して自動車の保有台数が多く、全国平均と比べ、移動を自動車に頼る比率が高いこと（しかも、嶺南地方においては福井県平均よりさらにその傾向が高い）	
甲 66	「高浜 30 キロ圏内 避難に 16 時間」と題する新聞記事	写し	H27. 4. 16	中日新聞	本件各原発が事故を起こした場合、避難に16時間以上要することが想定されること	
甲 67	「原発の「40 年ルール」とその課題」	写し	2016. 10	経済産業委員会調査室・縄田康光	細野環境大臣(当時)が「40年ルール」を導入した理由として、「なぜ 40 年なのかということですが、幾つか根拠として考えたものがございます。まず一つは、いわゆる圧力容器の中性子の照射による脆化であります。(中略) もう一つは、さまざまな機器についてのいわゆる工事の計画の認可の申請書における、どの程度それを使うのかということについての想定をした回数というのがございます、それぞれの機器について。そういった想定をされる回数というものが、一つのラインとしておよそ 40 年程度を目安になされているというのがございます。」 と国会で答弁したこと等	

甲 68 の 1	「関西電力 (株) から高浜 発電所 3 号機 で確認された 蒸気発生器伝 熱管の損傷に ついて報告を 受理」と題する 文書	写 し	H30. 9. 1 2	原子力規 制委員会	債務者は、2018年8月3日か ら高浜原発3号機の第23回定期 点検を実施したところ、同年9月 12日に蒸気発生器内の伝熱管1 本の外面に減肉が生じていると発 表したこと https://www.nra.go.jp/activity /bousai/trouble/houkoku/000001 32.html
甲 68 の 2	「高浜発電所 4号機の定期 検査状況につ いて(蒸気発生 器伝熱管の損 傷)」と題する 文書	写 し	R1. 10. 1 7	債務者	債務者が2019年9月18日か ら高浜原発4号機の第22回定期 点検を実施したところ、高浜原発 4号機においても、伝熱管5本の 外面に減肉が生じていたこと https://www.kepco.co.jp/corpor ate/pr/2019/1017_1j.html
甲 68 の 3	「高浜発電所 3号機の定期 検査状況につ いて(蒸気発生 器伝熱管の損 傷に関する原 子炉施設故障 等報告書の提 出について)」 と題する文書	写 し	R2. 9. 7	債務者	債務者が2020年1月6日から 高浜原発3号機の第24回定期点 検を実施したところ、蒸気発生器 内の伝熱管2本の外面に減肉が生 じ、再び同様の問題が高浜原発3 号機で生じたこと https://www.kepco.co.jp/corpor ate/pr/2020/0907_1j.html
甲 68 の 4	「高浜発電所 4号機の定期 検査状況につ いて(蒸気発生 器伝熱管の渦 流探傷検査結 果に関する点 検状況)」と題 する文書	写 し	R2. 11. 2 5	債務者	債務者は、上記の一連の同様の事 象が繰返し発生し、対策を徹底す るとしていたにもかかわらず、2 020年10月7日から実施中の 高浜原発4号機第23回定期点検 において、蒸気発生器内の伝熱管 4本の外面に減肉が生じているこ とが明らかとなり、高浜原発4号 機においても再び同様の問題を発 生させたこと

					https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2020/1125_3j.html
甲 68 の 5	「関西電力 (株) から高浜 発電所 3 号機 で確認された 蒸気発生器の 伝熱管の損傷 について報告 を受理」と題す る文書	写 し	R4. 3. 30 (R4. 6. 6 更新)	原子力規 制委員会	さらに、2022年3月30日にも、高浜原発3号機(定期検査中)の蒸気発生器内の伝熱管計4本について、管の厚みが減る「減肉」などが発生していたこと https://www.nra.go.jp/activity/bousai/trouble/houkoku_new/220000068.html
甲 68 の 6	「件名：高浜原 子力発電所 4 号機 蒸気発生 器伝熱管の損 傷について」で 始まる文書	写 し	R4. 7. 8	同上	2022年7月8日にも、高浜原発4号機(定期検査中)で、3台ある蒸気発生器の細管計12本で外側の減肉を生じていることが明らかになったこと https://www2.nra.go.jp/data/000398817.pdf
甲 69	「高浜発電所 3 号機 蒸気発 生器伝熱管の 損傷について」と題する文書	写 し	R4. 5. 13	債務者	未だに異物の混入原因や混入経路が明らかになっておらず、減肉問題は今後も再発するおそれがあること(甲68の5のURLを開いて下にスクロールすると、本文書へのリンクが貼られている)
甲 70	「7号機循環 水系配管(A) の欠損原因に ついて①」と題 する文書	写 し	R4. 11. 2 4	東京電力 ホールデ ィングス 株式会社	柏崎刈羽原発が11年間運転停止していた期間においても配管の腐食が進行したこと https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/publication/pdf/2022/2022112401p.pdf
甲 71	新聞記事	写 し	R4. 11. 2 9	東京新聞	同原発の所長は「十一年以上止まっている中でそのような状況になっているとは想定しにくかった」と述べ、長期停止による設備劣化への対応の限界を自ら認めたこと